



天文台だより

銀河の森天文台
2021 秋号
Vol.93

新展示「Mitaka for VR」のご案内！



1階展示室にある新展示「Mitaka for VR」を紹介いたします。

VRとはバーチャルリアリティ(仮想現実)のことで、この「Mitaka for VR」ではVRヘッドセットを装着し、専用のコントローラーで視点を操作することで、地上から見上げた星空だけではなく、自ら宇宙空間に飛び出して太陽系や銀河系、宇宙の果てまで好きな場所に移動して、星野観察や宇宙の様々な構造を見ることもできます。左の画像のように椅子に座って操作します。

実際に体験された方に感想を聞いたところ、「VRを体験するのは初めてでしたが、とても綺麗で感動しました。」、「普段見ている星がどれほど遠くにあるのか、宇宙はどのくらい広いのかを知ることができ、とても良い経験となりました。楽しかったです!」、「プラネタリウムと違い、自分の見たい景色を能動的に見る事ができるのはすごく画期的で面白いと思いました。」、「操作方法が分かりやすければもっと良かったのかなと思います。」、「普段何気なく見ている星空がVRを使うことで宇宙を立体的に見ることができると感動しました。」、「初めてのVR体験でしたが、地球と1等星の距離を知れたり、星空やプラネタリウムとはまた違った天体の美しさを感じられ楽しかったです。」と、うれしい感想が多かったです。

VR展示は、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、「準備中」の場合がございます。ご了承をお願いいたします。

ご注意

「Mitaka for VR」の対象年齢は13歳以上です。13歳未満のお子様のVR体験は目や脳に負担になることがありますので、ご使用はお控えいただいております。

秋のイベント情報!!

☆ハロウィンナイト観望会

秋の夜長、ハロウィンにちなんだ観望会を開催します。期間中、仮装してご来館いただくと、素敵なプレゼントを差し上げます。館内や望遠鏡を飾りつけて、皆様のお越しをお待ちしております。

開催日: 10月27日(水)~31日(日)



☆部分月食観望会

今年5月26日に3年ぶりの皆既月食が起き、全国で観測されました。そして11月19日にも月食が起きます。皆既にはなりません、ほとんど皆既に近いぐらゐの部分月食になります。ぜひご来館下さい。

開催日: 11月19日(金)

説明会: 午後5時から

月食情報

月出: 15:50

食始: 16:19

食最大(0.97): 18:03

食終: 19:47

右図は食が最大時の月食のイメージ図です。本影(地球の影)の中に月のほとんどが入っているのがわかります。



StellaNavigator / AstroArts

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
10月 1日	5:19	17:10	24.1	23:51	14:49
10月 15日	5:35	16:46	8.7	14:39	---
11月 1日	5:56	16:20	25.7	0:59	14:47
11月 15日	6:14	16:04	10.2	14:23	1:44
12月 1日	6:33	15:54	26.2	2:15	13:58
12月 15日	6:46	15:54	10.8	13:30	2:48

「驚き！おもしろ科学実験2021」 開催中止のお知らせ

11月6日(土)に開催を予定していましたイベント「驚き！おもしろ科学実験2021」ですが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止となりました。

安心安全を最優先に考えての決定に何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

天文行事&暦

10月

- 6 ●新月
- 8 寒露(24節気:太陽黄経195°)
- 20 ○満月
- 23 霜降(24節気:太陽黄経210°)
- 25 水星が西方最大離角
(光度:-0.5等, 離角:18°.4)
- 27-31 ハロウィンナイト観望会
- 30 金星が東方最大離角
(光度:-4.4等, 離角:47°.0)

11月

- 5 ●新月
天王星が衝
(光度:+5.6等, 視直径:3".8)
- 7 立冬(24節気:太陽黄経225°)
- 8 金星食
(陸別:潜入13:46、出現14:54)
- 18 しし座流星群が極大
(AM2時 最大10個/時)
- 19 ○満月
部分月食観望会
部分月食
(始16:18、最大18:03、終19:47)
- 22 小雪(24節気:太陽黄経240°)

12月

- 3 火星食
(陸別:潜入8:28、出現9:37)
- 4 ●新月
金星が最大光度(-4.7等)
- 7 大雪(24節気:太陽黄経255°)
- 14 ふたご座流星群が極大
(PM4時 最大80個/時)
- 19 ○満月
- 22 冬至(24節気:太陽黄経270°)

天体そもそも話「惑星②」

今回は、太陽系の惑星の名前の由来についてお話しします。

地球以外の7惑星のうち、古代から目視によって知られていた水星・金星・火星・木星・土星の5惑星の日本での呼び名は古代中国の「五行説」に由来します。五行説というのは世界の物事を木・火・土・金・水の5つの要素で説明するもので、他の星と違う動きをする5つの星に対しては、「速い動き=水」「明るさ=金」「赤い色=火」「遅い動き=土」と、連想される要素が割り当てられ、残る1つに「木」が当てはめられました。

また、英語の惑星名は主にローマ神話に由来するもので、それぞれ伝令の神マーキュリー(水星)、美の女神ヴィーナス(金星)、戦いの神マーズ(火星)、主神ジュピター(木星)、農耕の神サターン(土星)の名前で呼ばれています。

望遠鏡が発明されてから発見された天王星と海王星の英語名は、天空の神ウラヌスと海の神ネプチューンの名前からとられました。天王星・海王星という名前は英語名を中国語に意訳したものです。(三)

ペッコカめぐり「ほぼ皆既な部分月食」

2021年の2大天文現象は何かと考えると、一つは5月26日の皆既月食そうしてもう一つは11月19日の部分月食でしょう。5月の皆既月食は月が地球の影をかすめるように通過した、“ぎりぎり”皆既月食でした。それに対して11月の部分月食は、地球の影にぎりぎり入りきらない“ほぼ”皆既月食と言っていいくらいの、部分月食です。

実はこの部分月食がどのように見えるのかを、とても楽しみにしています。ほぼ皆既月食と同じように見えるのか？それとも細く残った部分がはっきりとわかる部分月食に見えるのか？

5月の皆既月食の写真から、11月の部分月食の最大食(0.97)と同じ食分の写真を探してみました。写真では上側の明るく残っている部分がはっきりとわかりますね。(11月の部分月食では、下側が明るく残ります) (中)



天文台からのお知らせ

- ☆ 10月より開館時間が、13:00~21:30となります。
(昼間13:00~17:00、夜間17:00~21:30)
- ☆ 年末年始12月30日(木)~1月5日(水)の期間は、天文台休館日となります。

プラネタリウム上映中止のお知らせ

コロナ感染拡大防止のため、コロナ終息までプラネタリウム上映を中止させていただきます。安心安全を最優先に考えての決定に何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

発行・編集：りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL: 0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp Twitter: @ginganomori_obs

